



**秋空に響く子どもたちの歓声!!**  
庵我小学校運動会 (平成25年9月22日)

「ふくちやまし議会だより」アンケートにご協力をお願いします。

## 主な内容

9月定例会市議会の概要	2~3
一般質問(14人が登壇)	4~11
議会日誌・12月定例会市議会の予定	11
常任委員会の審査報告	12~13
各委員会活動報告	14~16
広報広聴委員会アンケート	17~18
議会報告会	19
元気やで福知山! 「福知山観光ガイドの会」	20



キッズソーランの力強い演技

# 9月 定例会市議会

☆追加提案された台風18号による災害救助、災害復旧のための補正予算を可決

☆教育・保育や地域の子ども・子育てを総合的に推進するための「子ども・子育て会議条例」を新規に制定

## 概要

9月2日から9月26日までの25日間、9月定例会市議会を開催しました。

「ドッコイセ福知山花火大会」会場内で痛ましい事故が発生し三名の尊い命が奪われましたことは痛恨の極みであります。お亡くなりになられた方々の御冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、負傷されました方々の一日でも早い御回復をお祈り申し上げます。

また、本市に甚大な被害をもたらした台風十八号により、被害に遭われた市民の皆様は、心からお見舞い申し上げます。

福知山市議会議長 奥藤 晃

成で可決しました。

### ◆補正予算関係

一般会計で2億7061万2000円、特別会計で5億3310万8000円を補正しました。

### ◆災害関連関係(追加)

9月15日から16日にかけて本市が大きな被害を受けた台風18号の災害救助災害復旧を速やかに行うため、一般会計、特別会計、

企業会計をあわせて9億8205万9000円を補正しました。

### ◆条例関係

地域の元気臨時交付金基金条例、子ども・子育て会議条例を新設するなど8条例の制定、改正を行いました。

### ◆人事関係

公平委員の選任など5議案に同意しました。

### ◆その他

工事請負契約の締結、過疎地域自立促進市町村計画の変更など6議案を議決しました。

なお、前年度の決算関連議案は、全議員を委員とする決算審査特別委員会(野田勝康委員長・吉見純男副委員長)を設置し10月15日～24日の間、専門的・集中的に審査することとしました。

## 9月定例会市議会で決まった案件の概要

## ▽主な補正予算（当初提案）

●K T R 経営支援事業	327 万円
●防衛施設周辺整備事業	1,484 万円
●社会資本整備総合交付金事業（道路整備）	2,000 万円
●有害鳥獣捕獲事業	302 万円
●民間保育所運営事業	3,275 万円
◎市立保育園整備計画推進事業	230 万円
●理科教育設備等整備事業	450 万円
◎小中学校施設改修事業	4,550 万円
●全国大会等出場者激励金交付事業	68 万円

観光型リニューアル車両  
「あかまつ」・「あおまつ」

## ▽災害関連の主な補正予算（追加提案）

●地域再建被災者住宅等支援事業	3 億 3,021 万円
●災害援護資金貸付事業	2,500 万円
●災害ごみ対策処理事業	8,938 万円
●農地・農業用施設災害復旧事業	4,050 万円
●被災農地営農再開緊急支援事業	1,080 万円
●大江町総合会館災害復旧事業	7,143 万円
●図書館大江分館災害復旧事業	2,730 万円
●土木施設災害復旧事業	1,510 万円
●道路橋りょう災害復旧事業	2,894 万円
●由良川猪崎河川敷運動広場災害復旧事業	1,600 万円
●大江支所災害復旧事業	7,200 万円
●北部保健福祉センター災害復旧事業	1,453 万円
●簡易水道施設災害復旧事業	4,120 万円
●農業集落排水施設災害復旧事業	4,320 万円
●下水道施設災害復旧事業	6,330 万円



水稲の被災状況



戸田地区の被災状況

※◎が地域の元気臨時交付金（国の交付金）を活用した事業  
予算額は万円未満切捨て

## ▽条例関係

- 地域の元気臨時交付金基金条例（新規）
- 市税条例（一部改正）
- 子ども・子育て会議条例（新規）

## ▽物品の取得

- 多機能型小型動力ポンプ付積載車

## ▽工事請負契約の締結

- 市庁舎耐震改修工事
- ごみ焼却施設基幹的設備改良工事
- 桃映中学校北校舎改築工事

## ▽公平委員の選任

- あしだかつみ 蘆田勝己さん（大門 72 歳 再任）

## ▽教育委員の任命

- くらはしのりひこ 倉橋徳彦さん（大江町北有路 66 歳 再任）

## ▽固定資産評価審査委員会委員の選任

- ほそみひとし 細見均さん（昭和新町 63 歳 再任）

## ▽人権擁護委員の候補者の推薦

- まきたようこ 蒔田羊子さん（夜久野町今西中 64 歳 再任）
- ほりまゆみ 堀真祐美さん（岡ノ 58 歳 新任）

9月定例市議会

ここが聞きたい！

一般質問



各会派から14議員が質問に登壇！

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

●質問議員●

1. 福知山未来の会 森下 賢司 議員
2. 公明党市会議員団 足立 伸一 議員
3. 福政会 高宮 辰郎 議員
4. 希望の会 田淵 裕二 議員
5. 日本共産党市会議員団 吉見 純男 議員
6. 維新福知山 高橋 正樹 議員
7. 公明党市会議員団 吉見 茂久 議員
8. 希望の会 藤田 守 議員
9. 維新福知山 塩見 日出勝 議員
10. 日本共産党市会議員団 中島 英俊 議員
11. 日本共産党市会議員団 塩見 卯太郎 議員
12. 日本共産党市会議員団 大槻 富美子 議員
13. 福知山未来の会 田中 法男 議員
14. 日本共産党市会議員団 足立 進 議員

※所属会派は10月末現在



福知山未来の会 森下 賢司 議員

花火大会事故での市の基本的姿勢は

問 被災者の救済や、今後二度と事故が起こらないための対策をどう考えるか。

答 商工会議所や関係機関と連携を図り、本市で取り得る支援と対策にしっかりと取り組む。大きなイベント

市長マニフェストの進捗状況は

問 2期目マニフェストの進捗状況と評価は。

答 昨年度末で、全56項目中、5項目を達成した。本年度末には約3割が達成見込みで、順調に推移中だ。

問 着手に至らない項目の原因や課題は何か。

答 未着手の多くは、国・京都府や関係機関との調整

ト時には、今まで以上に安全に配慮して事故の再発防止に努めていく。(市長)

問 「公開事業レビュー」の評価と今後の方向性は。

答 市民本位で開催できた。議会の声も聞きながら来年度予算編成に反映させたい。

問 任期中での全項目実現に向けて、今後の方針は。

答 大規模開発事業などは、市だけでは実現が難しいが、国・京都府とも連携して具体的な成果をあげていきたい。(市長・市長公室長)

水害時の内水被害への対策は



内水被害で府道の冠水に悩む堤内地(福知山市宇中)

問 支流河川の浚渫や河道

問 国土交通省所有の排水ポンプ車の出動基準は。

答 指定避難所の浸水、主要地方道の冠水、住宅浸水の発生またはこれらの被害が予想される時である。

掘削に力を入れ、流量を増やして内水被害を起きにくくする考えはないか。

答 市管理の支流河川では、浚渫や河床の除草、護岸修繕を計画的に行い、河川の適正な維持管理と安全確保に努める。府管理河川では、支流河川の改修を府に要望していく。(土木建設部長)

農商工連携の現状と今後の展望は

問 農商工連携における具体的な取り組みと現状は。

答 昨年、農林商工部

内の各課職員で構成する「農商工連携ワーキングチーム」を設置して、農商工連携のあり方の検討を重ねてきた。8月に、初めての『ふくちの農商工ネットワーク交流会』を開催した。

問 今後の方向性や展望は。

答 農商工連携は、新たな地域おこしのビジネスモデルでもあり、今後も推進する。新たな商品開発・提供・販路拡大など、更なる異業種交流の場の拡大に取り組みたい。(農林商工部長)



公明党市会議員団  
足立 伸一 議員

### 再生可能エネルギー 推進の本気度を 伺う

**問** 「再生可能エネルギー活用調査会」による調査・研究の進捗状況は。また小水力発電の実証実験について本年度は予算が計上されたが、どうなっているか。



発電可能な小水力資源

**答** 小水力発電部会、バイオマス部会、社会貢献型発電システム部会の3分野で

進めている。小水力部会は府立工業高校の機械プランニング科の皆さんで大江町仏性寺の二瀬川から引いた農業水路で500w規模の実験を開始する。結果を踏まえ実用化を目指す。  
**問** 電力の自由化は、動向を見ていくとのことであったが、近隣自治体での実績について把握されているか。また推進課題は何か。

**答** 綾部市で新電力会社からの買い取り実例があると承知している。新電力は料金削減の魅力はあるものの、供給量が少ないことによる入札辞退の報道もあり、今後も注視していく。(市長)  
**問** 耕作放棄地へのソーラーパネル設置は、知恵と工夫の成果だ。市として助成する考えはないか。

**答** 今のところ、考えていない。(農林商工部長)  
**地理情報システム(GIS)の本格導入の考えは**  
**問** 高精度の位置情報や空間情報を基盤において、その上に、コンピューターでさまざまなデータを積み重ね必要な情報を目に見える形にして活用するシステム(GIS)は、大変便利で優れたものだ。行政にとって大いに役立つ。本格的に全庁で導入の考えはないか。

**問** 6月府議会で森林環境税創設の請願が採択された。府税でもあり、決まったわけでもないが、どのような見解を持っておられるか。  
**答** 全国35の県で導入されている。請願採択により、府は事務レベルで検討し、公表し、意見を求めることになる。税であるから、府民の十分な理解が必要だ。市としては使途などよく検討して対応したい。(市長)



福 政 会  
高宮 辰郎 議員

### 「新大江病院」の 存続について 市長の思いは

**問** 新大江病院は、旧大江町が町民の命の砦を守らなければならぬという熱い思いで、最初の公的医療施設への指定管理者制度の導入が図られた。今日まで運

営されてきたが、平成26年度には指定管理期間が終了する。急性期病院である福知山市民病院の後方支援病院としての役割や、高齢化が著しい地域にあつて、命の砦としてのその役割は大きい。市長のマニフェストである地域医療を守る意味でも新大江病院の存続について、その考え方を伺う。

**答** 毎年、指定管理者である新大江病院の理事者と、経営状況や経営計画について協議している。指定管理制度に移行して今年で9年目となる。指定管理者協定に沿って、厳しい経営環境の中で、健全経営に尽力され、慢性期医療を含む地域医療の確保に貢献されている。しかし、近年病院運営の要である医師の確保に非常に苦勞をされ、困難な状況と聞く。協定の残期間も、余すところ1年半となった。地域の命の砦である病院は当然守らなければならない。医師と医療スタッフの確保を始め、



新大江病院

新大江病院の運営のあり方について本年度、庁内でプロジェクトを設け検討するようにしたところであり、最善のあり方、方法を見定めていきたい。(市長)

**由良川改修促進を**  
**問** 由良川下流部緊急水防災害整備計画の進捗と国道高上げについての課題は。  
**答** 平成25年度中に由良川下流部緊急水防災害整備計画の宅地高上げ全件の詳細設計を提示し、平成26年度中に契約を締結したいと国交省から聞いている。大きな問題点の一つは急傾斜地の崩壊対策事業と、宅地高上げの実施区域が重複する箇所では、工事の手法や、調整などが必要だ。事業の進

捗に支障が生じないように国交省、京都府に働きかけたい。国道の高上げの考えは、6月議会でも答弁したように、国道175号、国道176号の交差点付近は連続した緊急避難道路としての機能が維持されるように、また、同様に著しく高低差が変化する道路とならなければならないことも含めて京都府に要望していく。(市長)



希望の会  
田淵 裕二 議員

### 花火大会爆発火災 事故対策は

**問** 福知山市としての事故後の対応と支援対策は。

**答** 事故後直ちに対策本部に参画し、職員を常駐させ被害者救済と再発防止に取り組んでいる。(市長)

**問** 重大な事故の場合、心的外傷を受けることがある。その対策内容は。

**答** 中丹西保健所とともに8月20日より心のケアを目的に相談窓口を開設、不安を抱える方々に寄り添い安心できるように親身に対応していく。(健康推進室長)

**問** 事故後の安全対策の具体的な実施内容は何か。

**答** イベントなどの火気取り扱いには、指導要綱を作成し、消防団とともに現場での安全指導を行っていく。京都市も火気取り扱い講習を計画している。福知山市として更に安全対策を推進していく。(消防長)

**問** 中央保健センターの移転後の計画の方向性は。

**答** 休日急患診療機能は残り、今後も保健医療の拠点として活用したい。(市長)



日本共産党市会議員団  
吉見 純男 議員

### 花火事故被災者の 支援を最優先に

**問** 被災された方への救済・支援について、地方自治法・消防法は市民の生命を守る自治体の責務を規定している。被害者に医療費の負担をかけない措置は。

**答** 事故であり、治療費は支援を求めている。福知山市の具体的な支援内容は。対策本部では、お亡くなりになられた方への訪問・入院治療中の方々への支援、被災された方々に個別に対応を行っている。その外、学識経験者も加えた専門的な検討を行い、誠心誠意、できる限りの支援に取り組んでいく。(地域振興部長)

**問** 被災者の生活保障は喫緊の課題だ。関係機関と協議して「交付金制度」など救済措置を具体的に講じるべきではないか。

**答** 法的な対応についても必要な時期に来ている。庁内で検討させて頂きたい。(地域振興部長)

**問** 再発防止対策の強化を

**問** 国の法改正を待たずともなく、屋台の設置基準や40歳未満のガソリンなどの規制規定の条を追加など「福知山市火災予防条例」の改正を行うべきだ。

**問** 今年8月1日から生活保護基準が引き下げられた。2年半かけて平均6・5%の引き下げとなる。物価下落を口実にしたもので、現下の生活必需品高騰のなか、逆行する措置だ。引下げ中止を求めたい。

**答** 今回の引き下げで受給者の82%を占める626世帯が減額となった。子どもが多い世帯の影響が大きい。就労支援、自立支援に力を入れていく。(福祉保健部長)



適正使用が求められる携帯缶

**問** 今回の事故を教訓に、ガソリン、灯油、ガスなどの取り扱いについて、一定

**問** 生活保護基準を引き下げ対応は

**答** 生活保護基準は、生活保護法に基づき、生活保護を受ける者の生活保護に必要となる最低限度の生活を保障し、その向上を図ることを目的として制定されている。引き下げは、物価下落を口実にしたもので、現下の生活必需品高騰のなか、逆行する措置だ。引下げ中止を求めたい。

### クレジットカード 払いの導入を

**問** 公金収納(健康保険料・各種税・市民病院の支払い等)のクレジット払いが可能なら分割払いができる。コンビニ収納の種類増と合わせて、公金収納の利便性向上を図ってはどうか。

**問** 市保有の遊休施設の再利用計画は

**問** 旧給食センター施設や跡地の活用計画の方向は。

**答** 来年度解体を予定している。跡地は(仮称)福知山市発達支援センターを検討している。(教育長)





維新福知山

高橋 正樹 議員

**福知山花火大会共催者としての責任**

**問** 福知山市は花火大会への補助金として416万円を拠出している。しかし、このイベントとの関係について明確な立場と責任を示されていない。市の責任はどのように捉えているのか。

**答** 主催は商工会議所を始め関係団体から構成される花火大会実行委員会、実質的な主管は福知山商工会議所である。市は共催団体として補助金を支出するとともに、職員を動員して支援してきた。今後は、関係機関と連携して支援に取り組みたい。

**手紙に託された被害者の悲痛な叫び**

**問** 花火大会事故被害者の親族から手紙を託された。手紙には、負傷者に24時間

付き添う家族が仕事を休み交代で往復2時間以上かかる病院に通い続ける現状が記され、「体力も気力も限界を超えた毎日を送っている人を作ってしまったことを、市長や会議所の方々は本当に知っていますか」「負傷された方全員に日常が戻るまで、どう『責任』が取られていくのを見守ります」とつづられている。

どうして、市は責任を持つて対処するといえないのか。市民が求める市の責任ある

回答を求める。

**答** 商工会議所だけに押し付けるつもりは断じてない。賠償問題や今後の問題について検討を進め、精一杯頑張らせてもらう。(市長)

**迅速な医療支援策**

**問** 手厚い医療救済対応を望みたいが、高額医療に対する支援方法の具体策は。

**答** 医療費については、額の多少にかかわらず、本人の負担にならないよう損害保険会社と調整を進めている。(地域振興部長)

**市街化調整区域の撤廃要件緩和は**

**問** 京都府は府北中部で「市街化区域と市街化調整区域」の区分(線引き制度)について区分けの撤廃要件を緩和する方針を示しているが、福知山市の見解は。

**答** 市としては、コンパクトな都市づくりを実現するために、建築行為ができる既存宅地制度などを活用し、引き続き、線引き制度を維持していく必要があると考えている。(副市長)



規制緩和のある上六人部地域 池田、三俣、堀越、生野など



公明党市会議員団

吉見 茂久 議員

**本市の住みよさ 全国総合評価は**

**問** 全国812都市の中で本市は都市力の総合評価が111位となっている。評価を更にするには定住人口増加を図る取り組みが必要であり、その中で雇用の安定についての考えは。

**答** 既存産業の振興やネットワークス京都市三和への企業誘致などとともに子育てや教育環境の充実を図り定住に近づきたい。また、就職フェアの開催や仮称「市民交流プラザふくちやま」に移転する京都ジョブパーク北部サテライトと連携して就職支援の充実に取り組みしていきたい。(市長公室長)

**災害時要配慮者の避難対策は**

**問** 災害対策基本法が改正され、災害時要配慮者名簿

の作成が義務化されたが個人情報取り扱いをどのように考えているか。

**答** 名簿作成は避難支援者などへの情報提供に同意をいただいた上で提供をお願いしている。また、情報の取り扱いについては十分留意するよう注意喚起を行わなければならないと考えている。(福祉保健部長)

**問** 障害者相談員の体制が充実してきたが課題は。

**答** 障害に関する情報はプライバシーに関係することが多いため、相談者側から相談がない限り障害のある方の状況やニーズを把握することが難しいということである。その中で相談員は地域活動、障害者団体活動や行政機関の行事への参加を通じて相談のニーズを把握することが重要と考えている。今後、行政や障害者団体を取り組む行事に相談員の方が相談したい方も参加できるような情報提供や

**健康マイレージの取り組みを**

**問** 健康マイレージとはどのような事業か。

**答** 日頃の健康づくりの取り組みをポイント化することで、そのポイントを貯めることをきっかけに積極的に健康づくりに参加いただくことを目的とした事業である。この事業に取り組むことにより、市民の健康に対する意識や行動に変化が



健康増進に取り組む 中央保健福祉センター



希望の会 藤田 守 議員

集落の過疎化対策

問 市街化調整区域は、地域の発展・活性化に大きな障害。規制緩和の対策を。

答 平成10年に市街化調整区域地区計画制度が導入され、計画に適合する開発が認められた。平成12年の都市計画法改正により、50戸

連たん1区域で一定の開発や25戸連たん18区域で住宅の立地を許容する開発規制が緩和された。(市長)



市へ要望書提出 (中六人部)

問 一日も早いマスタープラン(地区計画)の実現を。

答 今後、地区計画制度導入に向けて、運用基準に適合した計画素案を作成し、地元住民全員を対象にした合意確認をして法定手続きに入る。活性化を図るため土地などをどのように活用したいか地元住民の考えに基づき地区構想の実現を図りたい。(土木建設部長)

雇用の確保は

問 介護福祉士の就労の課題と育成の取り組みは。

答 全介護職員742人中、介護福祉士の有資格者は284人である。3年以内に

辞める人が多く、今後の育成には新規採用のほか、資格を有しない方のキャリアアップも重要である。(福祉保健部長)

有害鳥獣対策

問 公開事業レビュー評価結果や議会報告会などにおける切実な訴えへの対応は。

答 国や府の捕獲対策補正予算を活用し、駆除隊員の処遇改善により、シカ4000頭、イノシシ600頭、その他小動物の捕獲目標達成に向け、捕獲従事者確保・

育成の捕獲対策拡充の喫緊課題に取り組んでいきたい。同時に防除対策も強化する。(市長)

問 捕獲個体の処理に苦慮(仮称) 中丹地域有害鳥獣処理施設の様子は。

答 平成26年度限りの鳥獣被害防止総合対策交付金の活用により、中丹3市と協議の上、地元と誠意をもって調整して、環境や安心・安全に最大限配慮した施設設備を検討している。処理施設に係る関連予算は、平

成26年度当初予算に計上できるようにしたい。(農林商工部長)

問 基幹配水管の現状と今後の整備は。

答 基幹配水管の総延長は48.4km、法定耐用年数40年を超えているのは15.7kmの32.5%である。今後、老朽化が増え続ける経年管は、重要度の高い優先管路を明確にして、コスト削減に努め積極的な更新を図りたい。(上下水道部長)



維新福知山 塩見日出勝 議員

読書意欲の向上と

見聞の拡大

問 読書の学びの広がりについて、学校以外の人材の活用は。

答 ボランティアと連携し、市内全ての小学校24校と中学校4校では市民協働により、読み聞かせやブックトー

クなどの読書活動の支援を実施。福知山市自然科学協力員の方々の協力で、夏休み子どもなんでも相談会を開催している。(教育部長)

地域協議会

問 現在、市民協働推進会議が取り組まれている内容は。

答 市民協働推進会議では、市民が主役となったまちづくりの実現に向け、地域協議会や自治基本条例などを提言いただく。市民をど真

ゴミ減量化の取り組み状況は

問 環境パークに搬入される家庭生ゴミの量は。

答 正確な数値は把握していない。平成24年度の焼却処理対象ゴミの組成分析結果では、焼却ゴミに占める生ゴミの割合は平均4.55%。家庭から出た燃やすゴミの総量が1万1179t。

問 市民が簡単に取り組めるゴミの減量化対策は。

答 京都市の事例では3切(水切り・使い切り・食べ切り)運動を行っている。参考にして減量化対策や啓発に努めたい。

環境会議などではゴーヤによる緑のカーテンの取り組みを実施。昨年の実施率は一般家庭で8%を切っている。目標は25%だ(4軒に1軒の割合)。アパート

や団地でのプランターを中心とした取り組みも必要。コンパクトな堆肥作りができるよう研究を進めていきたい。(環境政策室長)



「緑のカーテン」ゴーヤのプランター栽培

人と自然がふれ合う環境づくりは

問 自然とふれ合う取り組みをされている地域は。

答 大呂地域では地域全体で一時減っていたホテルを増やしホテルとふれ合う「ホテルの里づくり」。仏性寺地域では大江山の自然観察会。

夜久野地域では都市・農村との交流活動の中で色々と取り組まれている。(農林商工部長)



日本共産党市会議員団  
中島 英俊 議員

**秘密交渉のTPP**

**問** 7月23日から日本が正式参加したTPP交渉で、政府は「秘密契約」に判を押し、何を主張したかさえ明らかにしない。協定発効後4年間は、国会にも秘密で隠しておくことになっている。こんなひどい異常協

定を許せるのか。

**答** TPPは大きな影響を及ぼすので、交渉内容を広く国民に開示して、国民的レベルで議論されるべきだ。

**有害獣対策  
しつかりと**

(市長)

**問** 被害は昨年度6500万円。駆除に実際は何人参加したか。今年の成果は。捕獲実施隊はどうなっているのか。

**答** 7月末現在で捕獲成果者91名で、登録者の約半数。

成果はシカ1185頭、イノシシ480頭。実施隊は人選に時間を要し、まだ編成できていない。

**問** 猟師が高齢化などで減り続ける中、担い手確保と育成は大事な課題だが。

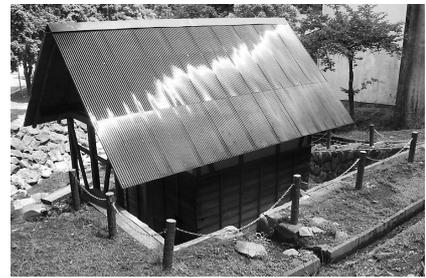
**答** ワナ、柵、檻の強化、銃器での緊急捕獲、追い払いや一斉捕獲を強める。三和では、大型捕獲柵を設置する。

**再生可能エネ  
ルギーの調査は**

(農林商工部長)

**問** 小水力実証実験で身近な水路利用にアドバイスができるようになるか。

**答** 府立工業高校の生徒に発電機を作ってもらい、10月上旬から大江町仏性寺の



水力発電機が設置される場所

**問** バイオマスでは、毎年10万〜13万m<sup>3</sup>も蓄積している木材の利用に力点を置

くべきと思うが。  
**答** 木材利用は、林業活性化や山の災害防止効果と採算性など検討が必要だ。  
**問** 市の公共施設の屋根を利用して太陽光発電を行い、その収益を有効利用する市民協働の方向はあるか。  
**答** 太陽光発電は8月末で合計580件、2538kW/h。市民協働発電は検討中。公共施設の屋根は、長期間使えるか調査が必要だ。(環境政策室長)



日本共産党市会議員団  
塩見 卯太郎 議員

**由良川改修促進の  
予算の増額を**

**問** 今年は昭和28年水害から60年。災害は忘れたところをやってくる。由良川の新河川整備計画が6月に決定したが30年計画であり、地域からは一刻も早い改修が望まれている。今後、予算

増額を求めるとともに、そのために住民と予算獲得の運動を起こす考えは。

**答** 早期の事業着手と予算の確保へ関係自治体と連携をはかり、30年とはいわずに、途切れることなく前倒しで早期事業化へ予算確保に全力をあげたい。そのため、住民の熱い思いをもとに、内外にアピールする計画をしていきたい。

(市長・土木建設部長)

**河川、がけ崩れ、  
急傾斜、砂防の**

(市長・土木建設部長)

**減災・防災対策を**

**問** 河川の改修や土砂災害急傾斜の年次計画と地域からの要望に基づき減災・防災対策を強化すべきだが。

**答** 市管理河川の改修率は34%である。地域からの要望は河川改修39件、がけ崩れ、急傾斜は20カ所であり危険箇所から改修する。

(土木建設部長)

**特別警報の実施に  
伴い市の対応は**

**問** 今年の8月30日から特別警報が施行された。50年



9月16日に初の特別警報発令

に一度の重大な災害に対して、何人も命を守る行動が求められている。市は直ちに徹底する責務があるが。

**答** 特別警報の周知は、市に義務化されたので、直ちに知らせる手段を行使する

とともに防災計画も改定する。  
**原発再稼働は中止**  
(危機管理室長)

**問** 福島原発の汚染水などどのように判断されているか。また9月15日全国の原発50基すべて停止する。大飯も高浜も過酷事故対策不十分であり、原発立地なみの安全協定も未定であり再稼働の中止を求めよ。

**答** 福島原発の汚染水など収束していると結論づけれない。原発稼働に向けて12基申請中だが、国民への

説明など注視していく。安全協定は府が窓口であり、今後も注視し行動していく。

**国保の都道府県  
一元化は問題だ**  
(市長)

**問** 一元化への動きと、また保険料はどうなるのか。

**答** 国も国民会議で最終報告。府も進めている。運営は府に移行し、賦課や保健は市に残る。保険料などは今後検討される。(福祉保健部長)



日本共産党市会議員団  
大槻富美子 議員

### 子ども子育て 「新システム」で 保育はどう変わる

**問** 新システムでは認可保育所に株式会社やNPO法人の参入が全面解禁された。さらに待機児童の受け皿として小規模保育や家庭保育などが地域型保育として始

まるが、保育資格者の人数など緩和され問題だ。保育時間も保護者の勤務時間によって長短が分かれる。今後の保育行政について市の基本姿勢はどうか。

**答** 保育園での死亡事故の9割が0歳〜2歳児だ。株式会社などの受け入れは今後の判断だ。保育時間については動向を注視する。認定こども園について検討している。  
(福祉保健部長)

### 放課後児童クラブ 指導員処遇改善を



より良い保育を子ども達に

**問** 子育て新システムにより国は初めて放課後児童クラブを法令基準で定めるこ

とになり、大きな前進だ。新システムでは、対象学年を6年生まで引き上げるとともに指導員処遇改善を求めている。支援計画策定のスケジュールは。

**答** 平成28年度を目途に6年生まで受け入れる。指導員処遇は当面現行でいく。  
(福祉保健部長)

### 要支援1、2の 介護保険外しは 問題だ

**問** 要支援と認定された方は介護保険を利用できなく

なる。契約違反だ。要支援者のサービス受け皿の検討はされているのか。

**答** ニーズ調査を参考に受け皿は検討するが、国の財政支援強化が必要だ。  
(福祉保健部長)

### 給食センター 委託契約見直しは

**問** 中学校給食開始に敬意を表する。しかし、開始から3カ月、様々な問題も起きている。その原因と対策は。また、施設設備の改善は市の責任で行うべきだ。

放射能検査を願う保護者の要望に応えるべきだ。  
**答** 食材の納入業者や生産者に研修を徹底し、洗浄、加熱に細心の注意を払っている。委託費は3年間見直しを行わない。施設は最新鋭の機器だ。施設維持、衛生管理など、今後も考えていく。  
放射能汚染の疑いのあるものは使用していないが、機器貸出の受け入れは検討したい。  
(教育部長)



福知山未来の会  
田中 法男 議員

### 市民会館改修後の 機能配置の考え方

**問** 機能配置の計画予定はどのようなものか。

**答** 1・2階は基本計画どおり保健福祉機能を配置、2階には障害者生活支援センターを配置、3階は男女共同参画センターやそれに

関わる市民団体の活動拠点などとして整備、4階は小規模多目的ホールとして整備する予定である。

**問** 施設機能の見直しは文化関係施設だけか。

**答** 教育・医療・福祉などあらゆる分野において、施設の機能や役割を見直し、整理統合・機能分担を図る必要がある。  
(市長)

### 由良川中流部の 河川改修の現状

**問** 遷喬・佐賀地区の改修計画はどのようになっているのか。

**答** 戸田地区の堤防閉切りは今年度中に実施し、興・観音寺地区の暫定高堤防は、対岸の私市地区の進捗に合わせて完成高まで嵩上げを行う。私市地区については、今年度中に上流部分から築造工事が開始されると聞いている。  
(土木建設部長)

**問** 大谷川改修の今後の見通しはどうか。

**答** 今年の秋頃には大谷川の現状把握が終了する予定と聞いている。多数の住家被害が考えられる区域につ



早期改修が必要な大谷川(遷喬地区)

### 市道における 環境美化対策

**問** 市道の環境美化対策はどのようになっているのか。

**答** 今年度から土木課に道路パトロールの専従職員を配置した。  
(土木建設部長)

**問** JRは8月から全面禁煙を実施したがタバコのポイ捨てが多い福知山駅周辺の道路はどうするのか。

**答** 駅の入入り口付近に、喫煙場所や灰皿がないことも要因の一つであると思われる。喫煙場所の確保について慎重に検討していきたい。  
(市長)

### 特別支援教育 支援員の現状

**問** スクールサポーターの

配置の基本的な考え方はどのようなものか。  
**答** 支援対策児童生徒の自立をめざすことと、安全を確保することを、配置の原則としている。  
**問** 今後の方向性はどのようになっているのか。  
**答** 今後においても教育上特別な支援が必要な子どもたちに対して、必要な人数と必要な勤務時間でスクールサポーターを配置し、適切な教育を行いたいと考えている。  
(教育委員会理事)



日本共産党市会議員団 足立 進 議員

### 消費増税の中止を

**問** 消費税率を8%に引き上げるといふ2014年4月が迫っている。今、長期にわたって国民の所得が減少し、消費が落ち込み、経済が悪化している。増税は深刻なデフレを一段と進行

させ、地域経済も国の財政も危機に陥る。市長は増税中止を国に求めるべきではないか。

**答** 10月1日にも是非が判断される。個人住民税を含む税制改革や、社会保障制度改革も踏まえた全体的な議論が必要。回復基調にある日本経済が、失速しないように慎重に議論してもらいたい。

**問** 増税は市民の暮らしを直撃するのではないのか。  
**答** 消費税は所得にかかわ

らず、全ての人に課税をされるために、家計に占める生活必需品などの割合が高くなる。所得の低い層ほど家計への負担が大きくなる。政府は消費税率の引き上げ時期を、経済状況が好転し、賃上げの動きが広がる段階で、実施をする条件を付している。消費税率の引き上げの判断時期に来てはいるが、実施するにしても、弱い立場の消費者・事業者の生活を脅かすことのない

よう、例えば生活必需品を対象とする軽減税率を盛り込むなど、最大限の配慮を講じていくべきではないかと考えている。(財務部長)

### バス交通の利便性の向上を図るために

**問** バスは市民にとって重要な交通の手段だ。今後、高齢化が進み家用車の運転ができなくなり、こうした人が地域で元気に暮らし

り離せない課題となっている。現在走っているルートで、利用者の利便性を考慮して変更が可能なところはないのか。

**答** 路線バスの運行状況は年々、利用者が減少する厳しい状況になっている。バス事業者にとって損失の拡大につながるような増便は実現が難しい。バス停の設置や時刻修正など利便性の向上によって利用促進につながるものについては、事業者に対して積極的に協議、

要望をしている。

(市民人権環境部長)



市民病院バス停の利用者



【9月】

- 2日 9月定例市議会本会議・各派幹事会
- 4日 広報広聴委員会
- 11日 9月定例市議会本会議・議会運営委員会
- 12日 9月定例市議会本会議
- 13日 9月定例市議会本会議・各派幹事会
- 18日 議会運営委員会・議員報酬等検討委員会
- 20日 各常任委員会・議会改革検討会議
- 24日 議会運営委員会
- 25日 9月定例市議会本会議・全議員協議会・各常任委員会

【10月】

- 1日 広報広聴委員会
- 2～4日 総務委員会行政視察
- 7～9日 経済委員会行政視察
- 11日 広報広聴委員会
- 15日 決算審査特別委員会
- 16日 決算審査特別委員会
- 17日 決算審査特別委員会・各派幹事会
- 26日 9月定例市議会本会議・全議員協議会・議会運営委員会・決算説明会
- 30日 全議員協議会・市民厚生委員会・議員報酬等検討委員会
- 21日 議会運営委員会・由良川改修促進特別委員会
- 22日 決算審査特別委員会・委員長会議
- 23日 近畿市議会議長会第2回理事会
- 24日 各派幹事会
- 28日 臨時市議会本会議・各常任委員会
- 29日 神奈川県寒川町議会行政視察来市
- 31日 第2回京都市議会議長会
- 全国市議会議長会全国高速自動車道市議会協議会第1回理事会

## 12月定例市議会の予定 (24日間)

- 2日 招集予定 本会議 (提案理由説明)
- 11日 本会議 (質疑、一般質問)
- 12日 本会議 (一般質問)
- 13日 本会議 (一般質問)
- 16日 常任委員会
- 17日 常任委員会
- 24日 本会議 (採決)
- 25日 (会期)

※この議会予定は、今後変更する場合があります。また、このほかに、全議員協議会などの会議が随時開催されます。

9月定例市議会 常任委員会審査報告

総務 常任委員会

市庁舎の耐震改修工事請負 契約締結についてなどを可決

主な議案審査

▼工事請負契約の締結

市庁舎耐震改修工事の請負 契約の内容について

問 福知山市庁舎耐震改修工事の内容は。

答 改修工事内容は、鉄筋コンクリート地上6階地下1階の各階に制震ブレース・

既存壁スリットを設置する耐震補強と内外装改修。

問 工事中の騒音や振動などについての対策は。

答 騒音や振動の出る工事は日曜祭日を行うよう日程の調整を計画的に行う。

問 耐震機構や油圧式制震ブレースの付設方法は。

答 耐震機材の付設は、外観に配慮して、建物内側の主要な柱に付設する。

問 地震による建物の低層階圧縮についての対応は。

答 平成21年度の耐震診断に於いてIS値0.6以上Q値1.0

以上で安全基準に達しているが、1階の吹き抜け部分が東西方向の揺れに対して安全基準を満たしていない箇所があり、建物全体の耐震補強改修工事を行う。

問 契約方法と入札結果は。

答 公募型指名競争入札による契約で、6者の指名業者から「西田・大栄共同企業体」が落札した。

問 落札した契約金額は。

答 落札7億7500万円。

問 工事期間はいつまで。

答 契約締結日より、平成27年9月30日の完成を予定している。



耐震改修工事を行う市庁舎

▼物品の取得

市消防団に配備する消防

ポンプ積載車について

問 多機能型小型動力ポンプ積載車の取得目的は。

答 消防団に配備している車両の老朽化により3台を更新する。

問 指名競争入札の内容と落札結果について。

答 9者の入札があり、3回の入札を行い「株式会社西日本エスエスシー」が2244万9000円で落札した。

▼財政調整基金の繰入れ

台風18号災害復旧予算8億135万6000円について

問 その内、財政調整基金4億3000万円の根拠は。

答 早急に復旧支援を進めることを目的として、各都府から予算要望をまとめ、府・国からの財源を除き、市の一般財源では措置できない予算を財政調整基金から拠出する。(全議案全員賛成可決)

民生 常任委員会

台風18号被災者への災害見舞金・ 援護資金などの補正予算を可決

主な議案審査

▼平成25年度一般会計 補正予算(第3号)

ごみ焼却施設改良工事は

問 以前談合問題のあった三菱重工業と今回請け負う業者との関係は。落札率が97・8%は高いのでは。

答 100%の子会社だが、裁判が昨年2月に和解した。理解を。内訳書をチェックし適正な見積もりと判断。

子ども子育て会議が設置される

問 保育園、幼稚園、放課後児童クラブなどの事業計画を作るのか。何か年の計画か。

答 子ども子育て関連3法の実施のため設置する。子育てに関する施策はすべて包含する。計画策定は2か年の予定だ。

KTR経営支援は

問 新たなデザイン車両を作るがいつから運行か。「あかまつ」「あおまつ」の事業効果は。

答 平成26年春頃の予定だ。乗車利用状況は同時時間帯比較で前年度比203%となっている。

▼平成25年度一般会計 補正予算(第4号) (台風18号災害関連)

災害見舞金は

問 同一世帯でも建物が別の場合、2戸と判断されるのか。

答 罹災証明がそれぞれに発行されるなら2戸に。

災害援護資金貸付は

問 据え置き期間が3年間で利率3%というのは高いのではないか。貸付の所得制限は。

答 利率は条例で定められているものだ。一人世帯で220万円だ。家が滅失した場合は、1270万円まで貸し付けが可能だ。

暮らしの資金の貸し出しは

問 いつから貸し出すのか。

答 12万円を限度に9月27日から貸し出す。

災害ごみ対策処理は

問 激甚災害指定されれば補助率が上がり、市の負担は下がるのか。

答 補助対象となるよう事務を精査する。激甚災害でも環境省の補助率は2分の1だ。平成16年台風時は約1万tのがれきりが出たが、今回は現時点で2000tだ。今後は農業関連のがれきが出るだろう。(全議案全員賛成可決)



一面海と化した大江町有路下地域

経済  
常任委員会

被災した農地・水道施設などの  
補正予算を可決

主な議案審査

▼平成25年度一般会計  
補正予算(第3号)

有害鳥獣捕獲事業

問 シカ緊急捕獲事業で、4頭目から10頭目までの7頭を捕獲報償金の対象であるが、11頭目からは。

答 グループで登録された場合はグループの総人数に10頭をかけた数が上限になる。

土地改良事業の  
施行について

農地・農業用施設  
災害復旧事業

問 被災した上野・談地内農地2箇所の復旧工程は。

答 10月2日に査定、11月後半入札し、平成26年2月までに復旧する予定であるが、努めて早く実施する。

▼平成25年度一般会計  
補正予算(第4号)  
(台風18号災害関連)

農地・農業用施設  
災害復旧事業

問 農林業において、後から被害の報告が出たらどうするのか。

答 農区長会では、5日以内の報告をお願いしている。今回は大災害なので、9月30日までを期限としてできるだけ早く報告して頂くようお願いしている。林業被害も査定の時期は示されていないが、努めて早く報告をお願いしたい。

農業集落排水施設事業  
特別会計補正予算  
(第1号)

農業集落排水施設  
災害復旧事業

問 なぜ、浸水しないようポールの制御盤を高く上げないのか。

答 高く上げると作業がしにくく、日常のメンテナンスや復旧に時間を要するというデメリットが多い。  
(全議案全員賛成可決)



金屋中継ポンプ場



市道石原2号

文教建設  
常任委員会

被災者住宅補修支援と  
災害復旧事業などの補正予算を可決

主な議案審査

▼平成25年度一般会計  
補正予算(第3号)

市道、旭が丘・小谷ヶ丘  
線の拡幅事業の用地買収

問 用地買収に伴い、家屋移転が生じるのか。

答 フェンス及び小屋等がかかるが、家屋移転はない。  
日新中学校管理棟の耐力度調査結果で、全面改築の検討

問 新たに耐力度調査を行う経緯と改築となった場合の全体スケジュールは。

答 耐震診断の結果、大掛かりな耐震補強工事が必要となり、全面改築か耐震工事かの判断をするために耐力度調査を行う。調査には、今後半年を要するため、実施設計を来年度に行い、工事は平成27年度から行うことになると思われる。

主な議案審査

▼平成25年度一般会計  
補正予算(第4号)  
(台風18号災害関連)

美河小学校体育館、大正小学校・日新中学校教室  
棟屋根の雨漏り改修

問 早い時期の手入れで費用の縮減が図れるのでは。

答 多くの建物が老朽化する中で、毎年、予算の優先順位をつけて行っているのが実情となっている。

問 補助内容と補助時期は。

答 50万円を上限に、対象経費の3分の1を補助する。ただし、対象経費が50万円以下の場合、その全額を補助する。時期については、被害調査の終わった後、広報等でお知らせする。  
道路橋りょう災害復旧事業

市道上荒河観音寺線 広域農道の被害状況

問 補助内容と補助時期は。



市道上荒河観音寺線 広域農道の被害状況

9月定例会市議会 常任委員会審査報告

(全議案全員賛成可決)

# 委員会活動報告

## 市民厚生常任委員会

訪問しました！

活動日 8月6日

### 福知山市環境パーク

#### ●燃えるごみ

平均1530t（1か月）を燃やしている。月曜から金曜の週5日稼働。2炉で24時間燃焼。

3切り運動（水切り、使い切り、食べ切り）を推進。焼却施設は建設から13年が経過し設備改良事業を実施予定。

#### ●燃やさないごみ

埋め立て量が増える傾向にあり啓発が必要。使用済み最終処分場の浸出水の管理を実施。（大江町三河・二俣、夜久野町大油子、三和町梅原）

#### ●容器包装プラスチック

引き取り費用35万円を市が負担。市民の協力で汚れが少なくなり分別作業が楽になった。

#### ●太陽光発電設置状況

補助単価2万円/kw  
上限額10万円/kw  
平成24年度は182件の申請があり今年はずでに7月末で74件が申請済みだ。



環境パーク訪問の様子

### 昭和小学校 放課後児童クラブ

夏休み中の大規模クラブの状況を把握するため訪問した。

登録児童数は120人だが出席は80%前後。

夏休み中の指導員の勤務は午前7時45分から午後7時までで2交代勤務として

いる。1人は6時間勤務。子どもが15人までなら指導員は2人、30人なら3人、45人で4人となる。夏休みは4年生までが対象となる。（常時は3年生まで）

障がいのある児童が入所する場合は指導員を加配措置する。市内2カ所で加配を実施している。

## 文教建設常任委員会

管内の現場視察を実施

活動日 8月7日

### 「景観条例の施行に関する決議」の議会決議を受けて、福知山市景観計画の変更に ついて確認

景観計画について、城下町まちなみ景観重点地区の区域縮小、福知山城眺望景観重点地区以外の高さ標記の削除など変更点の説明を受け、議会決議に対し、項目ごとに経過説明と進捗状況の報告を受けました。

「福知山市景観計画」は平成25年6月3日付で変更となり、「福知山市景観条例」の施行と併せて平成25年12月1日から運用開始されます。

活動日 8月7日

### 土木建設部関係事業の管内視察

#### ●都市計画道路路網の見直し 路線

現在、見直しが進められている廃止、存続、計画変更の候補路線の視察検証を

行い、現地において、代替路線の有無を含めて検討課題の説明を受けました。

#### ●橋りよう長寿命化計画の対象橋りよう

橋りよう長寿命化計画の対象橋りようの現地視察を行い、老朽部分の補修、改修方法について、技術的な見地からも詳細に説明を受けました。



橋りよう老朽箇所の現状確認

#### ●石原・福知山駅周辺土地 区画整理事業地内

販売促進を目的に、周辺土地との販売価格の整合を図り、価格引き下げを行なった石原・駅周辺土地区画整理事業地内保留地の未売却用地の現状確認を行い、販売状況と今後の見通しについて説明を受けました。



福知山市議会ホームページへのアクセスは検索画面で

福知山市議会

検索

を入力して  
クリック!

<http://fukuchiyama-shigikai.jp/>

市議会ホームページでは、議員紹介、議決結果、定例会日程、市議会の概要などが確認できます。また、会議録の閲覧・検索、議会中継や録画放映を見ることができます。

# 由良川改修促進特別委員会

9月16日の台風18号による由良川氾濫により被災されました皆様様に心からお見舞いを申し上げます。

8月8日に国土交通省近畿地方整備局、8月9日に京都府に要望活動を行いました。また、8月22日・23日には由良川沿川市議会関係委員会正副委員長会として、近畿地方整備局・国土交通省・財務省・関係衆参両議院議員を訪ね、由良川下流部緊急水防整備計画の早期完成に向けての事業促進と、今年6月に策定された「由良川水系河川整備計画」の早期事業化と予算確保を要望しました。



京都府庁で山下副知事に要望書を手渡す

要望活動

# 議会運営委員会

8月20日から21日、議会改革に関する先進地を視察しました。

**◆新潟県上越市**  
中山間地域の振興基本条例を制定するため、議会としても特別委員会を設置し、地域の推進委員会と意見交換会が行われたとのことです。

上越市は13町村を編入合併し、過疎化対策が喫緊の課題と位置づけ、住民の支え合いで地域を守るための施策を進めておられます。議会として条例制定に尽力された内容を視察しました。

**◆岐阜県高山市**  
議論する議会を目指して議会改革を進めておられる取り組みについて、視察しました。

市民参加の多様な機会を確保するため、総合計画策定に向けた市民意見交換会の開催や、公設市場、ゴミ処理施設の建設、公共交通体系など市の重要施策に対する政策提言を行っておら

議会改革の先進地を視察

れます。

両市議会の事例を本市議会に活かしていきます。



高山市での研修会

議会改革の取り組み

市民に開かれた議会として、全議員協議会室に、インターネットによる生中継と録画配信設備が設置されました。10月に開催された決算審査特別委員会から中継が開始されました。



# 広報広聴委員会

8月29日にルビノ京都堀川において開催された「市町村議会広報研修会」に参加しました。

京都府内の各市町村議会が発行している議会だよりを広報コンサルタントの方がクリニックされ、当日会場でその内容を講評されるものです。

参加された18の市町村議会が発行している議会だよりのクリニック結果を傍聴しました。

議会広報に携わる委員会のメンバーと議会事務局も出席し、総勢150名を超える中での研修でした。

福知山市議会においては当日の発表はなかったものの、後日クリニック結果が郵送され、表紙の写真や最終ページの企画内容、各ページのの詳細な内容まで指導をいただきました。

福知山市議会は2年前にも同研修を受講し、頁数の増加や表紙のカラー化、市民参加企画の採用など紙面の充実に努力してきましたが、他市の議会だより紙面

議会だよりのクリニックを受ける

やクリニック結果を聞き、さらなる工夫の必要性を感じました。

議会だよりは市民の皆さんに議会の様子を伝える極めて重要な広報誌です。より多くの皆さんに読んで頂くためには、見出しやリード文、写真の活用、分かりやすい表現や市民の登場による親しみやすさなど、多くの工夫を重ねることが必要であると再認識いたしました。



研修会の様子

# 議員報酬等検討委員会

## 議員報酬・定数決定まで

### 委員会設置までの経過

平成18年の1市3町の合併協議の中で、合併当初は激変緩和のため一定期間は市議会議員の定数を32名とする特例が決定されました。

そして、合併後最初の平成19年2月の市議会議員選挙で6名(旧3町各2名)を選挙し32名の議員が誕生しました。

この特例は平成23年の改選期までであったため、その後の議員定数をどうするかについて、集中的・専門的に協議・検討する「議員定数特別委員会」を平成19年12月に設置し、その後約1年間の歳月をかけて議論を行い、平成23年の選挙より議員定数を26名としました。

昨今、住民の議会に対する期待と不満を的確に把握し、議会改革の第一の目的である議会の機能強化、一方、行政と歩調を合わせた経費節減などを総合的に検討することが全国的に進ん

ています。

そうした中、本市議会においても、議員定数に加え、

議員報酬・政務活動費・費用弁償を一体的に検討するため、平成23年11月に「議員報酬等検討委員会」を立ち上げました。

なお、従来、議員報酬については、市長等の給与について審議する「報酬審議会」に委ねていましたが、議会自らが検討・決定し、

住民への説明責任を果たしていくことが、議会力の向上と透明性の拡大につながることから、現在は当委員会が協議・検討することとしたものです。

### これまでの協議内容

#### 費用弁償の見直し

路程に応じて1キロ単位で支払われる、交通費実費のみ残しました。

### 論点・争点

現在、議員報酬・定数へ住民の皆様への関心が高まっ

ています。そのことに対し、議会は「住民自治の根幹としての議会」を創り出す条件整備のために議員報酬・定数を考えることとしました。

議会力のバージョンアップを説明することにより住民の皆さんに伝えていきます。新しい議会運営、つまり、議会力アップの視点は不可欠であります。

議会改革は地域民主主義の実現です。この議会改革が執行機関の行政改革を促進することになります。

現在の議員のためだけではなく、多くの人が将来志し、議員活動がしやすい条件として考えていかねばなりません。

### 今後の予定

住民の皆さんのお声を十分にお聞きする中、平成26年中には、一定の結論を導き出したいと考えています。

議員報酬・定数を住民自治の問題として捉え、住民の皆さんとともに、議員報酬・定数を議論していきたい、更に自治を語り創

り出す契機にしていきたいと思えます。

### 政務活動費ってなに？

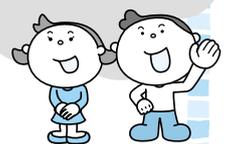
福知山市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の調査研究費(調査・視察)、研修費(研修会参加)、広報費(会派活動報告紙発行)、資料購入費(図書・資料)などの政務活動に資するため、所属議員1人につき年額180,000円を限度として、各会派に交付されるものです。

交付された政務活動費は、政務活動以外の経費に充てることは認められず、残余额は返還します。毎年度末に収支報告書を提出し、市民の皆さんに公開しています。

## 市民の声アンケート箱設置



市民の声



設置場所  
本会議場傍聴席入り口  
本庁傍聴テレビ前  
3支所玄関

本会議を傍聴してのご意見・ご感想や、議会に対する市民の皆様の声をご自由にお書きください。ご協力をよろしくお願いいたします。

# 「ふくちやまし議会だより」アンケート

広報広聴委員会では、わかりやすく、読まれる「ふくちやまし議会だより」の編集に向けて、市民の皆様のご意見を伺いたくアンケートを実施いたします。

お寄せいただきましたご意見などは、より多くの皆様に読んでいただくため、紙面の改善に役立てていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ● 返信方法

郵送の場合 裏面のとおり作成してお送りください。（切手不要）

ファクスの場合 **FAX 24-7080** へお送りください。

## ● 締 切 り 平成25年12月31日（消印有効）

### アンケート項目

該当する番号を○印で囲むか、もしくは記述してください。

あなたのお住まい（自治会 \_\_\_\_\_）

あなたの年齢（ \_\_\_\_\_ 歳） 性別（ 男 ・ 女 ）

問1 議会だよりをどの程度読まれますか？

- ① 大体読む ② 必要なところだけ読む ③ ほとんど読まない ④ その他

### 議会だより掲載記事一覧

- ①市議会の概要 ②一般・代表質問 ③常任委員会の審査報告 ④請願の審査結果  
⑤意見書 ⑥委員会の活動報告 ⑦議決結果 ⑧定例会の予定 ⑨議会日誌  
⑩編集後記 ⑪議員訪問インタビュー ⑫表紙の写真  
⑬その他（ \_\_\_\_\_ ）

問2 興味ある記事は何ですか？

上記記事一覧から番号を選んでください。（複数可）

[ \_\_\_\_\_ ]

問3 改善が必要と思われる記事とその具体的な理由をお聞かせください。

上記記事一覧から番号を選んでください。（複数可）

[ \_\_\_\_\_ ]

理由記入欄

[ \_\_\_\_\_ ]

問4 議会だより表紙の写真、議員訪問インタビュー先の募集をしていることをご存じですか？

はい・いいえ

問5 市議会のホームページを見たことがありますか？

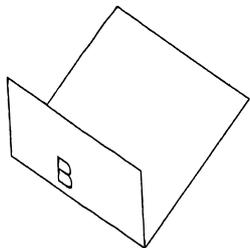
はい・いいえ

問6 議会だより・ホームページのご意見ご感想などを、ご自由にご記入ください。

[ \_\_\_\_\_ ]

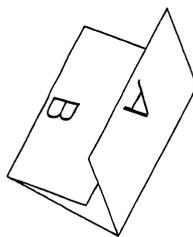


「切り取り線」



はじめに「山折り線①」を下にして内側に折り

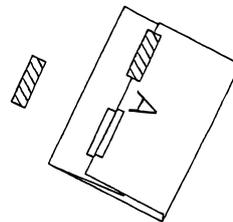
セロテープ・のり等でとめてください



B

次に「山折り線②」で折って、BにAを重ねて、セロテープでとめてください。

セロテープ・のり等でとめてください



----- [山折り線①] -----

6 2 0 8 7 9 0

福知山市字内記13番地の1(内記三丁目)

福知山市議会 広報広聴委員会 行



料金受取人私郵便

福知山局  
承認  
1148

差出有効期間  
平成25年12月  
31日まで  
(切手不要)

----- [山折り線②] -----

A

# 第4回 議会報告会

第4回議会報告会は、8月27日、28日の両日、下川口地域、川合地域、上豊富地域、佐賀地域の4会場で開催しました。

今回は、3月定例議会、5月臨時議会、6月定例議会の概要を、毎回の議会だよりから要約して議会の報告を行いました。

また、議会の模様を実感してもらうため短時間ではありますが録画放映をし、その後、意見交換会を行いました。



下川口地域

## 報告の概要

### 3月定例議会

市長の施政方針と年間の予算、今年度の重点施策とすべての会計の予算が提案されました。

一般会計は399億9千万円、特別会計、病院、上下水道の企業会計など全会計は700億円が提案され、予算審査特別委員会で集中審査したことを報告しました。

4会場では、それぞれ活発なご意見をお伺いすることができました。ご協力いただきありがとうございます。出されたご要望、ご意見を議会活動に反映させるとともに、ご要望の実現に努めてまいります。

ました。

### 5月臨時議会

正副議長、監査委員の選出と、すべての委員会の構成をしたことを報告しました。

### 6月定例議会

一般会計補正予算と条例改正などを審査し、可決したことを報告しました。

## 報告に対する質疑

質疑は、市の借金総額とひとり当たりの額はどれだけか、国保料が高いと思うが他市との比較は、市道の草刈りが8月では遅すぎるなどの質疑がありました。

## 意見交換会の内容

各会場で出された意見の要旨は次のとおりです。

- この地区（下川口地区）はようやく国の河川整備計画の対象となったが、由良川の氾濫常襲地であり、裏山は急傾斜にあり、市議会から関係機関に実情を伝えてほしい。
- 地域の活性化は喫緊の課題である。そのため市街化調整区域の撤廃を要望して

いる。議会としても取り組んでもらいたい。

●議員提案の3件は、議員の皆さんの公約からみても少ないのではないかと。

●学校の登坂路のガードレールの老朽で危険であると市に3年前に要望しているが未実施である。現場を見てほしい。



佐賀地域

- 自治会からの道路改修要望が採択されてから事業化まで長くかかりすぎる。
- 国道、府道の改良と、中学生の通学路の安全対策を点検して改良してほしい。
- 有害鳥獣被害が増加している。捕獲しているが追いつかない。処理施設はどこにできるのか。
- バスの運行で困っている。病院帰りが午前11時過ぎる



上豊富地域

- 午後4時まででない。改善してもらえないか。
- 里道が崩れた。市に要望したが地元での実施を求められたが寛大な措置を要望。
- 佐賀地域は無医村であり、医療の便宜を図りたい。
- 小規模校の施策を議会で議論してほしい。
- 21項目ありました。
- ご意見、ご要望について議会として協議し、結果をお伝えしていきます。

## アンケートのご意見

アンケートは、15通寄せられました。その内容は次のとおりです。

●市道の路面の修復と歩道ができるように拡幅を。

- 市街化調整区域の緩和について新聞記事を見ると他市では要望あれば緩和するところがあるが市の取り組みは。
- 由良川改修促進を望む。
- 報告は少なく、意見の時間を長くとりられる方が良かったと思う。
- 今回の報告会のような企画は大変良いと思った。
- 意見を真剣に聞いておられる姿がうれしかった。
- 過疎が進み、学校統合の対象地域は市街化調整区域であり一部解除と小規模校の支援をすることを望む。
- 人口を増やす対策に尽力を。
- どうか一人暮らしの老人を助けてほしい。
- 農地を守る政治を行うことなどでした。



川合地域

# 「元気やで福知山！」

No.9

## 議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：谷口 守議員・森下 賢司議員(9月8日・9日 福知山市内各所にて)

「おもてなしの心」で、観光客に喜んでもらえれば嬉しい  
「福知山観光ガイドの会」で活躍されている皆さん

「元気やで福知山！」の第9回を掲載します。福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を取材先として募集し、議員が訪問します。

今回は、福知山を訪れる観光客の方々に、観光案内をされている「福知山観光ガイドの会」の皆さんをお訪ねしました。



団体のお客様のご案内風景

福知山観光ガイドの会は、平成21年4月に設立され、会長の塩見豊さんを先頭に現在18名で活動されています。

観光バスで来られる団体客を予約受付して案内されたり、毎週日曜日にはJRの企画である市内ハイキングツアーで、福知山駅に降り立たれた訪問客に、市内

の名所を案内されています。二人一組で案内される市内ハイキングツアーのこの日のお客様は、箕面市から福知山に日帰り来られた女性二人組。ガイド制服に身を包んだ会員の見上さんと杉浦さんが案内役です。

駅で簡単な自己紹介をして打ち解け、いざ出発。おしゃべりを楽しみながらまちを歩き、御霊神社、広小路通り、治水記念館、福知山城などを訪ねました。



←御霊神社にて。右から、見上さんと杉浦さん

お城の石垣の積み方を丁寧にご説明→



和やかな雰囲気の中でお客様のペースに合わせてわ

かりやすく説明され、話を聞くお客様もとても嬉しそうに喜んでおられました。また、案内をされるお二人とも楽しそうに説明される姿が印象的な約2時間のウォークでした。



お話しを伺った皆さん  
左から松本さん、大谷さん、塩見さん、上原さん、吉田さん、

ガイドを始めたきっかけを会員の皆さんにお尋ねしました。「歴史が好きだから」「福知山をアピールしたい」「職場で観光業務に携わっていたから」そして、「福知山のこともっと知ろうと思った」など、思いはさまざま。

でも、大切に心がけていることは皆さん揃って『おもてなしの心』。わざわざ福知山に来られ

る観光客に喜んで頂くには、ガイドの技術も常に勉強して磨くことが必要で、何かと苦労も伴う。それでも「観光客の笑顔が見られて、喜んで帰って頂けると疲れも吹き飛ばす」と、会長の塩見さん。そして、お客様に喜んで頂くためには、「まず自分が楽しまないと」とも。会員の皆さんの心が伝わり、帰られたお客様からお礼状が届くこともしばしばとか。

今後は、さらに仲間の輪を広げ、特に女性のガイドを増やしたいと夢を語っておられます。「自分が楽しんで、相手におもてなしを」の姿に感じました。ご活躍が楽しみです。



「おもてなしの心」でご案内します是非、福知山にいらしてください

編集後記

「2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に」。嬉しいニュースに日本中が沸きました。

1964年東京五輪への準備過程は、戦後復興の象徴として日本中でインフラの整備が進み、豊かさや高度経済成長への道のりと歩を同じくしていました。

東日本大震災からの復興途上の今、7年後の五輪に向けて再び加速するであろうあらゆる整備が、被災された多くの方々に勇気づけ、再び将来への未来予想図となることを心から願いたいものです。

花火大会事故、台風18号災害で被災された方々には、あらためて心からお見舞い申し上げます。

このまちの復興に向けて、私たち議員一人ひとりが市民の皆様とともに手を携え、福知山の未来予想図をしつかりと描いていきたいと思っております。

(広報広聴委員会)